

## 「障害者就業・生活支援センター（両磐圏域）指定候補者プロポーザル方式等 選定委員会の審査結果

令和6年1月17日から令和6年2月6日まで公募を行った、障害者就業・生活支援センター（両磐圏域）指定候補者募集について、1者から応募がありました。

応募者の業務提案内容について、一次審査（書面審査）を実施したところ、募集要領4に定める業務提案に応募できる者に必要な資格等について、疑義が生じたことから、慎重な審査を行うために有識者等6名で構成する選定委員会委員による書面審査を実施しました。

その結果については、次のとおりです。

### 1 指定候補者 なし

### 2 選定委員会委員

氏名	所属・職名
中道 貴弘	岩手労働局職業安定部職業対策課・地方障害者雇用担当官
鈴木 幸男	一関公共職業安定所・所長
木村 静江	一関地区障害者地域自立支援協議会しごと部会・副リーダー
石井 賢治	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部 岩手障害者職業センター・所長
高橋 伸也	岩手県保健福祉部障がい保健福祉課・障がい福祉担当課長
駒木 豊広	岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室・特命参事兼雇用推進課長

### 3 審査基準・配点

	審査項目	配点(点)
1	支援対象障害者の継続的な確保 支援対象障害者を継続して確保できる見通しがあるか。	10
2	基礎訓練の実施体制等支援に係る事業内容及び事業計画 基礎訓練を行うための併設施設又は提携施設を確保しており、当該施設等において基礎訓練を適正かつ確実に行うことができる見通しがあるか。	10
3	地域の関係機関との連携状況 地域にある公共職業安定所、地域障害者職業センター、社会福祉施設、医療施設、特別支援学校、精神保健福祉センターその他の関係機関との連携が十分に図られる見通しがあるか。	10
4	職員配置・体制 業務に必要な職員を確実に配置できるなど、事業の実施のために必要な体制が確保できる見通しがあるか。	10
5	職業準備訓練の実施体制 職業準備訓練又は職場実習中の支援、職場定着支援等のための人的体制が確保できる見通しがあるか。	10
6	雇用の場の確保 職業準備訓練又は職場実習の修了者の雇用の場の確保の見通しがあるか。	10
7	地元自治体の関与の状況 ①地元自治体の積極的関与、連携が見込まれるか。 例：センターのケース会議等に地元自治体の福祉部局等の参加が予定されているなど。 ②センターの運営主体となる法人と地元自治体との間に良好な関係を築く見込みがあるか（福祉担当部局及び商工部局等）。	10

8	障害者の就業及び生活に関する支援の活動実績 ①当該法人の支援を受けた障害者で就職した者が過去3年間で、相当程度いるか。 ②今後、相当程度、見込めるか。	10
9	財政的基礎 ①事業を行うに十分な財政的基礎を有するか。 ②十分な自主財源を有する場合以外は、労働局及び県からの受託を受ける見込みがあるか。	10
10	事業全体に係るスケジュール ① 全体スケジュールは提案内容を実施するに当たり実現性があるか。	10

#### 4 評価

上記の表による採点評価の結果、各委員が採点した得点の総計の平均が6割に満たなかったことから、募集要領7(2)ウにより選定しない。

#### 5 採点結果

	応募者名（※指定候補者以外は匿名）	平均点
1	応募者A	49.5点

(100点満点)